

* 26インチ望遠鏡撮像取枠部など PMC に収蔵

国立天文台の歴史的天文器物調査が佐藤英男、中村 士、松田 浩、久保麻紀の4氏により行われ、レポートが出ている。これら調査された歴史的器物は旧図書館1階の移動式書架に誰の目にも触れない状態で収蔵されていた。今回、筆者は国立天文台博物館構想を進めるにあたって、これらをPMC展示場に移設した。今回、移動したのは、

- 1) 天文時部にあった時計表示部(写真1)
- 2) レプソルド子午儀室にあった光源装置(写真2)
- 3) セオドライト(写真3)
- 4) 子午儀の部品の入った木箱(水準時などが入っている)(写真4)
- 5) フォトセオドライト(写真5)
- 6) 色フィルターターレット付望遠鏡の一部(写真6)
- 7) 経緯儀(写真7)
- 8) 何か分からないが重要なものに見えるもの(写真8)
- 9) クロノメーター(写真9)
- 10) 皮ケース入りクロノメーター(写真10)
- 11) クロノメーター(写真11)
- 12) セイコーの水晶時計(写真12)
- 13) 直角に曲がった望遠鏡(人工衛星観測用)(写真13)
- 14) 子午儀視野照明用ランタン2個(写真14)
- 15) 26インチ写真撮像部(写真15)



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



写真8



写真 9



写真 10



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15

これらの内、天文時関係のものを並べた展示が写真 16 である。



写真 16